

## 指定管理者制度導入施設 令和4年度決算資料

施設名	道の駅くるくる なると（大津町備前島字蟹田の越338番地の1） ※JA大津松茂 農産物直売所「えがお」除く	担当	戦略企画課
-----	--	----	-------

### 1. 指定管理の状況

#### (1) 指定管理者

【団体名】 株式会社 TTC  
 【代表者名】 代表取締役 河越 康行  
 【所在地】 静岡県熱海市上多賀686番地

(2) 指定期間 令和3年4月1日から令和9年3月31日（6年間）  
 （令和3年度は開業準備期間）

#### (3) 指定管理の内容

- ①施設の管理運営に関する業務
- ②施設の利用に係る利用料金の徴収に関する業務
- ③施設等の維持保全に関する業務
- ④施設の開業までの準備に関する業務
- ⑤その他市長または指定管理者が必要と認める業務

### 2. 指定管理者事業報告書概要

#### (1) 管理業務の実施状況

- ①開館日数： 年間338日
- ②管理体制： 駅長1名、正社員12名、パート・アルバイト80名の体制により管理運営業務を実施。（パート・アルバイトの人数については時期に応じて変動有り）
- ③業務実施状況： 本件施設が交流人口の拡大や地域活性化を図ることを目的とした「四国のゲートウェイ推進プロジェクト」の中核施設という性質を踏まえ、施設の目的化を通じた観光消費の拡大のほか、メディア露出やSNSの活用を通じた地域の魅力を全国に発信する役割を担うよう、施設運営に努めた。
- ④利用サービス向上への取り組み： オリジナル商品の開発やSNS戦略など、民間ノウハウを活用し訴求力の高い利用サービスの提供を行った。また、施設の売上の一部を鳴門市に納付し、市の維持管理経費削減を行ったほか、更なる利用サービス向上等に繋がる市の歳入確保に努めた。（R4年度納付金実績：90,710,167円）

#### (2) 利用等の状況 (単位：人)

年間利用者数	1,191,362
--------	-----------

#### (3) 売上状況

(単位：円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	14,794,387	152,393,766	120,014,311	132,969,766	176,908,934	117,433,420
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	143,691,193	146,033,710	144,095,819	127,143,762	120,131,162	161,469,269
						合計
						1,557,079,499

(4) 管理に係る収支の状況

【収入の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
指定管理料	25,000,000	25,000,000	-	
合計	25,000,000	25,000,000	-	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
警備費	6,000,000	18,061,000	12,061,000	駐車場警備等
水道光熱費	27,500,000	28,589,446	1,089,446	電気料、水道料等
保守・修繕費	8,000,000	3,847,435	△ 4,152,565	保守点検、修繕費等
清掃衛生費	21,000,000	20,273,770	△ 726,230	定期清掃・浄化槽清掃等
合計	62,500,000	70,771,651	8,271,651	

差し引き収支額 △ 45,771,651 円 (不足分については、物販・飲食施設の収益により負担)

3. 令和4年度鳴門市からの指定管理者への補助金及び委託料

(1) 補助金明細

なし

(2) 委託料明細

(単位：円)

事業名	決算額	担当課
道の駅「くるくる なると」指定管理料	25,000,000	戦略企画課

4. 管理運営状況について

開館日数	導入前		開館時間	導入前	
	R1			R1	
	R2			R2	
	R3			R3	
	R4	338日		R4	9時～17時
利用者(件)数及び施設使用者(件)数	H30		モニタリング評価結果	評価(A～C)	A
	R1			施設所管課 所見	
	R2			履行確認(*1)	
	R3			清掃や警備等をはじめ、協定書に基づき、施設の適正な維持管理に努めた。	
	R4	年間来場者数：1,191,362人 (※年間来場者目標：50万人)		サービス水準(*2)	
				定量的な部分では交流人口の拡大を実現したほか、定性的な部分では多くのメディアに掲載されることで、施設のみならず、本市の認知度向上に十分寄与した。	
				安定性評価(*3)	
				全国的に赤字経営の道の駅が多くある中で、収支状況は良好であり、安定感の高い施設運営が行われている。	
売上状況について	年間売上：1,557,079,499円 (※年間売上目標：5億5千万円)				
利用サービス向上策	指定期間共通	オリジナル商品の開発やSNS戦略、各種イベントの実施等、民間ノウハウを活用し利用サービス向上に努めた。その結果、平日・休日を問わず多くの県内外の方にご利用いただいているが、年間を通して大きな苦情等もなく、良好な施設運営を実現している。また、売上の一部を市に納付することで、市の歳入確保等に努めた。			
	R1				
	R2				
	R3				
	R4	オリジナル商品の開発やSNS戦略、各種イベントの実施等、民間ノウハウを活用し利用サービス向上に努めた。その結果、平日・休日を問わず多くの県内外の方にご利用いただいているが、年間を通して大きな苦情等もなく、良好な施設運営を実現している。また、売上の一部を市に納付することで、市の歳入確保等に努めた。			

\*評価(A～C)の定義

- A・・・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- B・・・協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- C・・・協定書等を遵守しているものの、内容の一部に課題がある、または改善の必要な内容である。

\*施設所管課 所見

- (\*1) 履行確認・・・協定書や仕様書等に定められた事業や業務等の履行状況の確認を行います。
- (\*2) サービス水準・・・どの程度の水準のサービスを提供しているのかについて測定・評価します。
- (\*3) 安定性評価・・・サービス提供の継続性・安定性について収支状況や事業計画と実績との比較等により確認・評価を行います。